

日義こども園交流～草木染めを通して～

上田朱莉・森下茉凜・深澤愛梨

・研究目的

- 1.ものづくりの楽しさを伝える。
- 2.園児たちとの交流を行うことで自分たちの進路学習につなげる。
- 3.交流をとおしてコミュニケーション力を高める。



・研究活動

ものづくりの楽しさを伝える→身近なものを使って、ものづくりの楽しさを知ってもらうことを考えた。

→「木曾の自然の恵みで草木染め」を考えた。5月学校付近に生食している草花を採取。

○講師依頼 私たちは、草木染めの知識に乏しいため、地元で草木染めをしている方に教えていただいた。



・技術指導（1）雑草で草木染めを行うことは…①色合いの調整が難しい②雑草を大量に収集することが困難③季節的に材料が少ない。

→初心者でも簡単に染めができる「玉ねぎの皮」で染色することを教えていただいた。

・技術指導（2）ホーローの鍋の中に玉ねぎの皮を煮込む。（ステンレス鍋以外不可能）→布に輪ゴムと割りばしで絞りを作る→染液（玉ねぎの皮を煮たもの）をボウルに移し布をつける→ミョウバンと交互に（2～3回）染めていく→水に色がつかなくなるまでゆすぐ→脱水機にかけ水気を取る。→輪ゴムを外す→完成！！



○交流

・1回目の交流は、前半は、園児たちとのコミュニケーションをとり、後半は、布に模様を園児たちと一緒に作る。割りばしに輪ゴムを巻き付けるのは園児には難しいと思い、丸めた布に輪ゴムを巻き付ける作業を考えた。実際、ゴムのみでやっている子は少なかった。一度保育園で草木染めをやったことがあるクラスだったため簡単だった。園児の要望で割りばしを使いたいとのことから割りばしに変更した。



・2回目の交流は、遊戯室にある流し台の中にボウルを2セット（染め液とミョウバン）置く。

布を交互に染めて乾かすまでの作業をする。



・反省&感想

交流するぎりぎりまで準備をしていて少しバタバタしていた。

一回目の交流で自分たちのネームプレートを作れていなかった。

初めての交流だったがスムーズにできていた。

講師の方に教えてもらったとおりに園児たちにもちゃんと教えることができた。

